

日本SOD研究会報

発行元 日本 SOD 研究会
住 所 〒 154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/sod>

肝炎と インターフェロン治療のリスク

即効性がある Ⅱ 副作用が強い

そこで今月は、肝炎について、そしてその治療としてこれまでの普通の西洋医学の病院で使われてきたインターフェロンという投薬について丹羽博士に伺ってきました。

肝臓はもの言わぬ臓器と言われ、非常に働き者でなかなか愚痴を言いません。ですから症状が出たときにはかなり進行している場合が多いそうです。

日常会話の中でも「肝心なのは」や「これが肝になって」な

ど、物事の重要なポイントを指すときに肝臓を用いて表現するように、それだけ肝臓が大切な働きを行っているのです。

肝臓には、門脈と冠動脈の二本の血管で血液が送られています。肝臓はこの二本の血液の中に含まれる成分を代謝、排泄、解毒するといった非常に大切な働きを行い、体のあらゆる病気を未然に防止し

診察中の丹羽博士



ています。肝臓でこのような働きが行われた血液は、肝静脈を経過し、下大静脈に入り心臓へ送られていきます。

それが故障しておこる肝炎の初期症状は、なんとなく疲れやすい、

だるい。最近、食欲がない。

ウィルスに感染した急性肝炎の場合、発熱、吐き気などの風邪とよく似た症状が出ます。数日間その症状が続いたあと、身体が黄色くなる。黄疸[＊]が手や胸などに現われますが、特に分かりやすいのは白目に出る黄疸[＊]です。

しかし、ウイルス性のもの、食物から感染するA型肝炎は安静にしてバランスのよい食事をとることにより一、二ヶ月で治ります。

ところが、血液などの体液から感染するB型肝炎、血液製剤フィブリノゲンなどによって感染し、発症するC型肝炎になると簡単ではありません。これらの肝炎が進むと、肝臓が繊維化して硬くなってしまう肝硬変になり、それが進むと肝臓ガンになる可能性が高いのです。C型肝炎は慢性型ウイルスのため、感染時にはほとんど症状がないのに、肝炎ウイルスは体内に居座るので、急性肝炎の多くがウイルス感染を維持して慢性肝炎に進行し、数十年という年月をかけて肝硬変に進み、肝臓ガンが発生します。

さらにやっかいなことに、C型肝炎は、発症していないキャリアが推定二百十五万人もいると言わ

れています。自覚症状がなく、普通の検査でも正常という結果が出ます。しかし、将来、肝炎になる危険性を孕^{はら}んでいるわけです。

——今回は肝炎についてお願いします。

「肝炎はね、血液製剤や予防接種の針の使い回しなんかで15年以上前の医療行為で感染させられた人がたくさんいます。発症するまでに時間がかかるし、自覚症状が出にくいからやつかい。

B型肝炎というのは百人中五〇人は自分で抗体を作っているんです。しかし、あとの五〇人は何をやってもダメ。

C型肝炎になると、百人中一〇人は何もせんでも治っていくけれど、あとの九〇人は何をやっても効かん。発症したら早くて15年。遅くて25年で肝硬変になる。そうになると腹に水がたまって膨らんでくる。肝臓が硬くなって通らなくなった血液が他の器官を通るようになる。例えばそれが食道のところを通ろうとすると食道の血管が太くなって食道静脈瘤になって破裂して死ぬとか、お腹に水が溜まっていたいてい5、6年でアウト。それがお決まりのコースなんです」

——なにをやってもダメなんですか？

「いや、これもSODとアガリクスがよく効く。最近、千葉大の教授がヒ素で肝臓悪くした患者さんにSODを飲ませてGPT値（注参照）が良くなったというデータが出たと報告してくれました」

——SOD愛飲者の方にお話を伺ったら、インターフェロン治療を勧められたそうなのですが、この治療はどのような？

「抗がん剤の一種だから、当然、副作用がある。まず、鬱病になる。糖尿病にもなる。あと、リウマチも多い。確かに、一〇人中一人くらいには効くものだから、盛んにインターフェロンを使い出したんですね。最近はそのりにリバベリンを併用すると、今まで効かなかった一〇人中二、三人には効くというわけです。ただし、リバベリンとの併用で起こる副作用は、溶血性貧血になること」

——溶血性貧血はどんな病気ですか？

「血が溶けていってしまう病気。赤血球が破壊されておこるんです。鼻血、歯肉からの出血に始まり、息切れ、動悸、黄疸になって死ぬ。よく効く薬ができたと思って

も、やっぱり化学薬品には副作用が出てくるんですよ。糖尿病や鬱病は死なないけれど、溶血性貧血は死ぬからあかん。僕の従兄弟に京大を出た整形外科の医者がいるんですが、C型肝炎を持っていて、この間まで元気だったけど、先日、突然、亡くなったんです。どうし



丹羽博士のアガリクスは中国福建省の厳選された特級品を活性化加工

「たんだと聞いたら、同じ京大の内科医の友人が、C型肝炎にものすごく効く薬ができた、といってインターフェロンとリバベリンをやらされた。要注意です、これは」

——よく効くということばは副作
用も強いということばと同義語で
すね。

「まったくそのとおり。今の西洋医学は、肝臓だけに効くというような一箇所だけに効くものなんかない。よその臓器も細胞もみんないっしょにダメにしてしまう。だから効いた薬ほど怖い。僕にかかって

いた患者さんでもひとりかふたりはインターフェロンした患者さんがいましたよ。よっぽどうまいことを言うんでしょうね。治った人がいるということを強調するんですが副作用で苦しんでいるということとは絶対に言わない。

SODとアガリクスを飲んでいれば肝硬変にはならないです。もちろんガンにもならない。

肝硬変になってガンになってからでは遅い。ま、僕にかかったら治るけど（笑）、とにかく早めにSODをガンガン飲むことです」

（11月4日新横浜診療所にて

注・肝機能が悪くなると、GOTとGPTという酵素の値が上がります。肝炎ウイルスや薬物などで肝臓の細胞がこわれたのを測る検査として利用されています。

◆丹羽先生診察ご希望の方は
御紹介、御予約いたします。

丹羽メディカル研究所

Tel 0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

Tel 03(5787)3498

まで お電話ください。

SOD愛飲者
インタビューSODと信頼できる知人のおかげ
今の元気な自分があるのは

松村のぶ子さん 57歳



34年前の出産のとき肝炎に感染した

その病気はひょんなことで発覚した。埼玉県に住む主婦松村さんは、周囲の誰からも、明るく元気な人と言われ、実際、健康には自信があった。そんなある日、腕にピンポン玉くらいの脂肪の塊ができ、レントゲン検査をしに病院に行ったところ、血液検査からC型肝炎が判明した。

クラクラする思考の中、思い当たるのは三四年前、子供の出産のときに帝王切開したことだった。「ああ、それですね、間違いない。そのときに感染したんですね。大変だけどこれからは毎月検査に来てください」

C型肝炎Ⅱ難病Ⅱ肝硬変ⅡガンⅡ……。頭の中をグルグルと回る悪い情報の数々。さすがの彼女も落ち込み、思い余って、以前から通っていた自然食品の店「寿美麗」さんに相談したところ、即座に

「SODを飲んでみたら？」

と勧められたのだった。

信頼できる人から言われたこともあり、さっそく毎日飲み始めた。そうしたら一ヵ月後の検査時に早くも結果が出た。

「数値がかなり良くなっているのですね」と言われ、三ヵ月後に行くと、「数値がプラスマイナス・ゼロにな

りましたね。もう次の検査は一年後でもいいですよ」

若さは症状も早めるが、治癒も早い。その後、彼女はSODだけは毎日欠かさず飲みながら、病気のことはすっかり忘れ、両親、子供達との三世代にぎやかな同居生活に忙殺されていた。

あれから四年。今年の夏のことだった。母の病気を始め様々なトラブルが重なり、いつになく忙しい日々のなか、母親を病院に連れて行ったついでに受けた検査でC型肝炎の再発が発覚した。しかも今回はかなり数値が悪く、インターフェロン投与のために入院しなければならなかった。

肝臓はもの言わぬ臓器と言われ、症状が出たときにはかなり重症だという。松村さんの場合も、まったくなんの症状もなく、ただ忙しくて疲れ気味くらいの程度だったから、つい油断していたのだ。

「それまでSODは一日に二袋だったんですが、診断後はあわてて朝、昼、晩に二、三袋ずつ飲み始めたんです。で、近所の知り合いには今度入院しますから家のことなどをよろしく願いますと言ったんです。今度はさすがに覚悟しなければならぬのかとも思いまし

たね。そして一週間後に入院手続きを兼ねた検査をしたら、当初プラス5だった数値が、ゼロに戻っていたんです」

先生も首をひねる。彼女もSODの話は先生にしていなかったの

で、今度は先生のほうが「もつと詳しい、高度な検査をしてみましよう」と言い出し、二万五千円もかけて最高級の検査をした。ところがまたもや数値はゼロ。入院の準備をしていた彼女が「先生、九月一日から入院しますからよろしく願います」と言ったら、今度は先生のほうがあわてた。

「いや、いや、入院も、インターフェロンも今は必要ないです。しかし、なんだろう。松村さんは自分で自分の体を治してしまった。こんな人、みたことないよ」

松村さんは今も先生にはSODのことを話していない。西洋医学一辺倒の先生にSODのことをどう話したらいいのかわからないのだとか。確かに、そのお気持ちは良く分かる。ただ、最近では丹羽療法のことが西洋治療の先生たちにも広く認知され、丹羽療法を取り入れている先生も全国二百人以上にのぼるようになった。

**肝硬変直前をSODが止めた
頑固者のご主人が変わった**

岡田善子さん
66歳

出會いは重度のアトピーに悩まされていた友人のお嬢さんに始まる。そのお嬢さんが、ある日、と

うとう入院されたのだ。それも土佐の田舎の病院に、という話を聞いて、岡田さんはどうして地方の

病院に入院するのかしらと思った。
ところが彼女は二週間後、見違えるように綺麗な肌になって帰ってきた。いったいなにをしたらこんなに治るのかしらと聞いたところ、丹羽先生とSODのおかげだという。

どんなことにも好奇心旺盛な岡田さん。医者からは、5年位前から、年齢からくる白内障の初期症

でも、岡田さんが本当にSODを飲ませたかったのは、実は、ご主人だった。76歳のご主人はC型肝炎を発症していて、医者からは肝硬変になる直前だと言われていた。演歌好きが高じて本職の税理士の傍らで演歌歌手としても活動しているご主人にとって、無理がきかない肝炎の症状は苦しい。

医者からもインターフェロンを使った方がいいのではと言われていた。岡田さんは副作用のことを考えると、インターフェロンは使いたくなかった。できれば丹羽先生に相談し、診察してもらいたい



しかし、そこには大きな難関があった。ご主人は、目新しいものを取り入れようとはしない性格のため、岡田さんがSODや丹羽博士のこともいろいろインフォメーションしたのだが「そんなもんは眉唾ものだ、やらん」の一点張り。そこで一計を案じた。ある日、ご主人が歌の仕事で地方に行くというときに、岡田さんは丹羽博士の著書を「新幹線の中で退屈しのぎに読んでみて」とご主人の旅行バッグに入れたのだ。

そうしたら、旅行から帰ったご主人が、

「丹羽先生に診察してもらおうか」と言ってくれたのだった。

そうしてご主人は去年の十月の末に新横浜の診療所に通い始めた。明けて一月から三月というのは決算、確定申告の季節。税理士さんが一年でいちばん忙しい時期である。ご主人も徹夜に近い日々が続いた。そうしたら案の定、症状が悪化していた。

「この薬は自分には合わないんだよ。インターフェロンのほうがいいんじゃないか」と岡田さんにあたる日が続いた。それでも丹羽先生の

SOD 様食品 体験者の声を お聞かせ下さい。

難病で苦しんでいる方たちが少しでも早くいい治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

「きつと治してやるからな、薬だけは続けて飲んでおけよ」
の言葉に励まされてご主人に薬を飲み続けてもらった。
春を越え、仕事が一段落すると検査の数値が見る見る良くなっていった。一年後には病院の先生からも、数値が安定しているのもう毎月の検診ではなく、三ヶ月後でいいですよ、といわれ、さすがのご主人もすっかり安心してSOD信者になってくれた。
心配の種が減り、ほっと一安心して自身の区の六五歳健診を受けると、そこで眼科の先生に
「以前、白内障の初期症状だから点眼薬をつけたほうがいいといわれたんですが」と聞いたら
「白内障？ そんな症状、まったく



出ていませんよ」と言われた。そんなバカな。白内障は点眼薬で症状の進行を遅くすることはできても、治らないと言われたのに、治ってる。思い当たることはたったひとつ。
この三年間欠かさず飲んでいいるSODのおかげだ。
「この主人と私のすばらしい体験をひとりでも多くの人やお友達に教えてあげられたらいい」と岡田さんはSODの販売を始めることにした。66歳で新しいことにチャレンジする岡田さん。その瞳は希望に輝いていた。

食

■農薬が
気になる！

■野菜を
食べたい！

食べ物の危険性についてお伝えしてきた特集も、今回が最終回。

これまでは食物加工品等に含まれる添加物のお話を紹介してきましたが、忘れてはならないのが、それらの原材料となるもののこと。とくに野菜は、毎日口にするものだから、できればたっぷり摂りたい。しかし気になるのは残留農薬のこと。高価な無農薬野菜にしたいけどもなかなかできないのが現状。

そこで今回は、野菜の残留農薬を調理前にできる限り排

除する方法を、増尾清さんの著書「危ない食品たべていませんか」(三笠書房) からご紹介します。

おばあちゃんの知恵袋ではありませんが、昔から野菜は季節の旬のものがおいしくて栄養価が高いと言われていました。

旬は、野菜が順調に育つために農薬の使用量も少なく、もっとも安心な時期でもあるのです。

よって、今回のテーマは寒い季節には欠かせない鍋の材料を始めとした冬野菜です。



はくさい

鍋物に欠かせない冬野菜の代表がはくさいです。お店で選ぶとき、一個売りは巻きが固くて重いもの

はくさいの外側の葉は捨てる



を。カット売りの場合は、白い部分より黄色い部分が多いものを。これらはより良い土とより良い気候のもとで育ち、病気や害虫にも強く、農薬の必要があまりないはくさいです。

はくさいは外側の葉がいちばん始めに生えます。つまり、いちばん外側の葉に残留農薬がいちばん多く含まれますから、外側は捨てるのが鉄則です。キャベツ、レタスなども同様に外側は捨てましょう。

春菊

鍋でも一回ゆでてから入れる春菊



はくさいと並んで鍋物に欠かせない青物、春菊。ほとんどの方が春菊はさっと水洗いして適度な長さで切って、生のまま鍋に入れているはずですが。

しかし、春菊を始めほうれん草、小松菜などの葉もの野菜には根野菜よりもたくさんの農薬が残留しているのです。だから下ごしらえ



水を流しながら5分くらいつけること

をキチンとして、生では決して食べないようにすることが大切です。たとえ鍋物でも、一回ゆでたものを使います。

まずはしっかりと洗うこと。サツとぬらすだけの洗い方はダメ。ポウルに水を流しながら5分くらいつけておき、そのあと5、6回のふり洗いをします。水を流し続けることで溶け出した農薬などが再び葉につくことを防ぎます。そうしてさつとゆでて水にさらし、ギュッと絞って水気を切ってから鍋に入れます。いったんゆでることで硝酸塩やダイオキシン、シユウ酸などもお湯の中に溶け出します。

ねぎ

はくさいやキャベツ同様、ねぎも外側の一枚をむいてから調理す

ようにしましょう。せっかくの太くてつやつやのねぎなのにもったいないという気持ちはわかりますが、思い切って必ず一枚むくようにしましょう。そうすることで農薬やダイオキシンが残留しやすい表皮の下のカチクラ層も取り除くことができます。

もともとねぎは食べる部分に土をかぶせて育てるから農薬が直接かかることはあまりないのです。



有害物質は外側の皮に

だから皮をむけばまず安心。選ぶポイントとは白と緑の境界線がくっきりしていること。先端まで緑色が瑞々しいことです。

しいたけ

生しいたけは屋内や林の中で栽培されるので農薬が使われることも少なく、ダイオキシンに汚染されていない心配もありません。よいしいたけは傘の内側のひだがしっかりとっていて肉厚のもの。



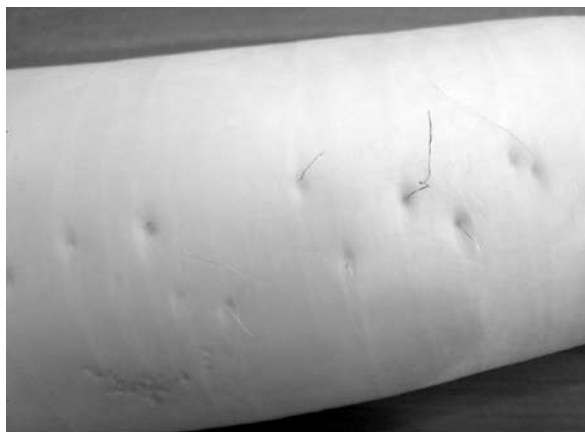
石づきをとり、ためすぎを

ボウルの中でためすぎを二、三回すれば大丈夫です。しいたけにはコレステロール値を下げるエリタデニンや、がん細胞が増えるのを抑える作用のあるβグルカンという成分など、体にいい成分がいっぱい。カロリーもゼロですから、積極的に食事に取り入れたいものです。

だいこん

ぶりだいこん、ふろふきだいこんなど、冬の家庭の味には欠かせないだいこん。良い土壌で育ったものは白くてツヤがあります。また、ひげの根っこあとも少

なく、小さいのが特徴。まずは水を流しながらスポンジでこすり洗いをし、泥をしっかりと落とし、さらに皮を剥けば農薬の心配はほとんどありません。



毛穴の少ないつるつる美肌のものを

しかし、問題は葉っぱを使う場合です。だいこんは根よりも葉っぱの方に栄養があると言われ、お味噌汁などに使うことも多いはず。しかし、葉は地上に出ていますから農薬を浴び、それが残っている心配があります。取り除くには、まず流水の中でよく洗い、2センチほどに切って、熱湯で約2分ゆでます。それを冷たい水にさらし、水気を絞ってから料理に使います。

SOD様作用食品とは・ 丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力を握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、ガンや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が

存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されませんでした。

それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。



開発した丹羽耕三医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときに、ご子息を白血病で亡くされ、それをきっかけにSODの研究を始めました。副作用がまったくないガン治療薬、がテーマでした。

開発には実に二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気が自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐清水病院院長として、毎日、医療の現場でガン、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです

あしたも元気 (No.84)

よく見る食品の用語について

いろいろな食品に、その成分や物質名などが表示されています。

その成分や物質について理解しているものもあれば、解らないけれど健康には良さそう、というものもあると思います。

よく見る食品の表示や栄養素の用語について、簡単にわかりやすく説明します。

アミノ酸

アミノ酸とはタンパク質を構成する最小単位のこと。

人間の体をつくるタンパク質は約20種類のアミノ酸からできている。この中で体内では合成できず、食品から摂取しなければならないのが「必須アミノ酸」と呼ばれる。

アミノ酸は心臓や臓器、消化器官、筋肉、神経伝達組織、髪の毛や皮膚のコラーゲンなどを構成している、人間の体にとって重要な栄養素である。

コラーゲン

人間の体を形成する繊維状のタンパク質。タンパク質の約1/3がコラーゲンである。

真皮の中の細胞と細胞の間を埋めている物質で、鉄骨のように皮膚組織の形態を保っている。

抗酸化物質

活性酸素の攻撃から身体を守る栄養素。細胞の変化(サビ)を防ぐ。

活性酸素とは

人間の体内にあつて、細菌やウイルス、カビ、異物などから身体を守る物質であるが、必要以上に作られると正常な細胞を破壊して、老化や生活習慣病、しみ、そばかす、しわの最大の原因となるといわれている。

抗酸化物質の代表的なものは「SOD酵素」でとても抗酸化力が強い。

その他ビタミンC、ビタミンE、ベータカロチンがある。

カロリー

食べ物に含まれる熱量のこと。

酵素

生体内のほとんどすべての成果化学反応に対して、代謝をスムーズにするために働くタンパク質のこと。

フラボノイド

炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル、食物繊維の6大栄養素に次ぐ7番目の栄養素と呼ばれている。野菜や果物などの自然色素や苦みに含まれている。

カテキン

ポリフェノールの1つで、主に茶に含まれる。

オリゴ糖

とうもろこしに含まれるキシランを原料としたさやかなやさしい甘味がある、低カロリー甘味料のこと。砂糖の約半分のカロリー。オリゴ糖は消化酵素では吸収されないため腸まで届きビフィズス菌を増やす。また便の水分量のバランスを整える働きがある。

ナイアシン

別名ビタミンB3ともいう。ニコチン酸とニコチン酸アミドの総称。

水溶性ビタミンで熱に弱い。

パントテン酸

以前はビタミンB5とも呼ばれていた。水溶性ビタミンで熱に弱い。

BCCA

分岐鎖アミノ酸(枝分かれしている分子構造のアミノ酸)のことで必須アミノ酸の「バリン」「ロイシン」「イソロイシン」の3つのこと。

筋肉を構成するタンパク質の約15〜20%を占める。筋肉の組織で代謝され、肉や魚、乳製品、卵に含まれる。

ブドウ糖

果物などの植物に含まれる。また糖類、オリゴ糖、乳糖、デンプンにも含まれている単糖類のこと。

クエン酸

レモンなどの柑橘類に含まれ、酸味の主成分となっている。

生体内のエネルギー代謝を行うために必要な成分。

【栄養士 高橋広海】

丹羽博士の著書

丹羽博士の、一般向けの著書の二部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。

「安心の医療・本場の健康」

(みき書房)

「丹羽SOD様作用食品摂取者の体験報告」

(日本SOD研究会)

「クスリで病気は治らない」

(みき書房)

「白血病の息子が教えてくれた医者への心」

(草思社)

「活性酸素で死なないための食事学」(廣済堂)

「丹羽博士の正しい『アトピー』の知識」

(廣済堂)

「天然SOD製剤がガン治療に革命を起こす」

(廣済堂)

「医は仁術なり」

(致知出版)

「丹羽療法」全国のアトピー患者が信頼するこれだけの理由」

(リヨン社)

「新刊」がん治療 究極の選択

(講談社)

「SOD様作用食品の効果」(小冊子)

リーフレット全20巻



SOD関連出版物一覧

バックナンバーについて

日本SOD研究会では、これまでに発行した「会報」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。

ご希望の方は、最寄りの取扱店または、

日本SOD研究会

TEL 〇三二五七八七―三四九八

までご連絡ください。

丹羽SOD様作用食品

